

基本情報

時間割コード	231006
開講区分(開講学期)	春～夏学期
曜日・時間	木1
開講科目名	経済学特論 (産業組織 I)
教室	509
開講科目名(英)	Special Lectures in Economics (Industrial Organization I)
定員	999
ナンバリング	23ECON6E310
単位数	2.0
年次	1,2年
担当教員	松島 法明

詳細情報

講義題目													
開講言語	日本語												
授業形態	講義科目												
授業の目的と概要	産業組織(Industrial Organization, IO)の理論で必要とされる基本の分析道具と、その応用例について学習します。												
学習目標	現実の企業間競争を描写するのに有用である産業組織の理論を構築する方法を学習します。												
履修条件・受講条件	大学院水準のミクロ経済学、ゲーム理論、数学に関する知識を有すること。												
授業計画	産業組織の理論分析における基本分析枠組みを学習します。これに加えて、いくつかの関連論文を紹介します。また、講義担当者が過去に公刊した論文を、投稿した時に受け取った査読報告書と一緒に検討することで、論文改訂の流れを知っていただきます。												
	<table border="1"> <tr> <td>第1回</td> <td> <p>題目:Bertrand models</p> <p>Bertrand modelsを学習します。</p> </td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td> <p>題目:Cournot models</p> <p>Cournot modelsを学習します。</p> </td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td> <p>題目:Stackelberg models</p> <p>Stackelberg modelsを学習します。</p> </td> </tr> <tr> <td>第4回</td> <td> <p>題目:Ishibashi and Matsushima (2009, Marketing Science)とPan (in press, Canadian Journal of Economics)の検討 (1)</p> <p>第1、2回の内容を応用した例としてIshibashi and Matsushima (2009, Marketing Science)を取り上げて、査読報告書などを利用して論文作成過程を紹介します。また、第3回の内容を応用した例としてPan (in press, Canadian Journal of Economics)を取り上げて内容を検討します。</p> </td> </tr> <tr> <td>第5回</td> <td> <p>題目:Ishibashi and Matsushima (2009, Marketing Science)とPan (in press, Canadian Journal of Economics)の検討 (2)</p> <p>第1、2回の内容を応用した例としてIshibashi and Matsushima (2009, Marketing Science)を取り上げて、査読報告書などを利用して論文作成過程を紹介します。また、第3回の内容を応用した例としてPan (in press, Canadian Journal of Economics)を取り上げて内容を検討します。</p> </td> </tr> <tr> <td>第6回</td> <td> <p>題目:Ishibashi and Matsushima (2009, Marketing Science)とPan (in press, Canadian Journal of Economics)の検討 (3)</p> <p>第1、2回の内容を応用した例としてIshibashi and Matsushima (2009, Marketing Science)を取り上げて、査読報告書などを利用して論文作成過程を紹介します。また、第3回の内容を応用した例としてPan (in press, Canadian Journal of Economics)を取り上げて内容を検討します。</p> </td> </tr> </table>	第1回	<p>題目:Bertrand models</p> <p>Bertrand modelsを学習します。</p>	第2回	<p>題目:Cournot models</p> <p>Cournot modelsを学習します。</p>	第3回	<p>題目:Stackelberg models</p> <p>Stackelberg modelsを学習します。</p>	第4回	<p>題目:Ishibashi and Matsushima (2009, Marketing Science)とPan (in press, Canadian Journal of Economics)の検討 (1)</p> <p>第1、2回の内容を応用した例としてIshibashi and Matsushima (2009, Marketing Science)を取り上げて、査読報告書などを利用して論文作成過程を紹介します。また、第3回の内容を応用した例としてPan (in press, Canadian Journal of Economics)を取り上げて内容を検討します。</p>	第5回	<p>題目:Ishibashi and Matsushima (2009, Marketing Science)とPan (in press, Canadian Journal of Economics)の検討 (2)</p> <p>第1、2回の内容を応用した例としてIshibashi and Matsushima (2009, Marketing Science)を取り上げて、査読報告書などを利用して論文作成過程を紹介します。また、第3回の内容を応用した例としてPan (in press, Canadian Journal of Economics)を取り上げて内容を検討します。</p>	第6回	<p>題目:Ishibashi and Matsushima (2009, Marketing Science)とPan (in press, Canadian Journal of Economics)の検討 (3)</p> <p>第1、2回の内容を応用した例としてIshibashi and Matsushima (2009, Marketing Science)を取り上げて、査読報告書などを利用して論文作成過程を紹介します。また、第3回の内容を応用した例としてPan (in press, Canadian Journal of Economics)を取り上げて内容を検討します。</p>
	第1回	<p>題目:Bertrand models</p> <p>Bertrand modelsを学習します。</p>											
	第2回	<p>題目:Cournot models</p> <p>Cournot modelsを学習します。</p>											
	第3回	<p>題目:Stackelberg models</p> <p>Stackelberg modelsを学習します。</p>											
	第4回	<p>題目:Ishibashi and Matsushima (2009, Marketing Science)とPan (in press, Canadian Journal of Economics)の検討 (1)</p> <p>第1、2回の内容を応用した例としてIshibashi and Matsushima (2009, Marketing Science)を取り上げて、査読報告書などを利用して論文作成過程を紹介します。また、第3回の内容を応用した例としてPan (in press, Canadian Journal of Economics)を取り上げて内容を検討します。</p>											
	第5回	<p>題目:Ishibashi and Matsushima (2009, Marketing Science)とPan (in press, Canadian Journal of Economics)の検討 (2)</p> <p>第1、2回の内容を応用した例としてIshibashi and Matsushima (2009, Marketing Science)を取り上げて、査読報告書などを利用して論文作成過程を紹介します。また、第3回の内容を応用した例としてPan (in press, Canadian Journal of Economics)を取り上げて内容を検討します。</p>											
第6回	<p>題目:Ishibashi and Matsushima (2009, Marketing Science)とPan (in press, Canadian Journal of Economics)の検討 (3)</p> <p>第1、2回の内容を応用した例としてIshibashi and Matsushima (2009, Marketing Science)を取り上げて、査読報告書などを利用して論文作成過程を紹介します。また、第3回の内容を応用した例としてPan (in press, Canadian Journal of Economics)を取り上げて内容を検討します。</p>												

	第7回	題目:Hotelling models (1) Hotelling modelsを学習します。
	第8回	題目:Hotelling models (2) Hotelling modelsを学習します。
	第9回	題目:Price discrimination (1) Price discriminationについて学習します。
		題目:Price discrimination (2) Price discriminationについて学習します。
	第11回	題目:Choe, King, and Matsushima (in press, Management Science)の検討 (1) 第7 - 10回の内容を応用した例としてChoe, King, and Matsushima (in press, Management Science)を取り上げて、査読報告書などを利用して論文作成過程を紹介します。
		題目:Choe, King, and Matsushima (in press, Management Science)の検討 (2) 第7 - 10回の内容を応用した例としてChoe, King, and Matsushima (in press, Management Science)を取り上げて、査読報告書などを利用して論文作成過程を紹介します。
	第13回	題目:Product differentiation (1) Product differentiationについて学習します。
		題目:Product differentiation (2) Product differentiationについて学習します。
	第15回	題目:Narasimhan and Turut (2013, Marketing Science)の検討 第13、14回の内容を応用した例としてNarasimhan and Turut (2013, Marketing Science)を取り上げて内容を検討します。
	授業外における学習	講義終了後に学習した内容を自身で解きなおすこと。
	教科書・教材	関連する資料を配布します。関連論文については講義のHPを設けて、参加者各々が入手できるようにします。
	参考文献	Belleflamme, Paul and Peitz, Martin. 2015. Industrial Organization (2nd ed.). Cambridge University Press. Tirole, Jean. 1988. The Theory of Industrial Organization. MIT Press. Armstrong, Mark and Porter, Robert (eds.) 2007. Handbook of Industrial Organization Volume 3, North-Holland.
	成績評価	各講義における発言 (30%) ならびに最終課題 (70%) で評価します。 最終課題は、数ページの小論文作成、もしくは、公刊済みの関連論文に対する査読報告書作成です。
	コメント	講義内容を的確に理解し、その上で自身の興味に従って論文を探して、その内容の理解ならびに応用する方法を理解するようにしましょう。
特記事項		

授業担当教員

教員氏名	所属・職名・講座名
松島 法明	社会経済研究所・教授

学生への注意書き

--